



1 学校理念 = 「喜びをつくる学校」

… 学校は、授業や学級・学年経営、学校行事、地域活動等を通して、「喜び」を生み出す「工房」の役割を担います。

「喜び」のつくり方は、粘土をこねて何かをつくり出すイメージです。

※「喜び」の対象及び解釈は、生徒及び教職員を含む地域全ての人の「成長・達成感」、「新しい価値」、「変化」、「可能性」などのことを指します。そして、喜びをつくる際には、多様性や可塑性を意識します。



2 学校教育目標「創造し 協調する たくましい 生徒」の育成

… 以下の3本の柱から人格を具体的に解釈し、目指す生徒像を設定しました。

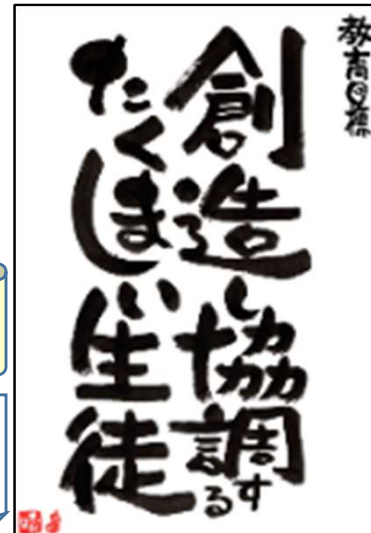
- 3本柱
- ◎創造（おもしろく）… クリエイティブな発想や新しい価値を生み出す力をもつ
 - ◎協調（やさしく）… 相手を思いやり、助け合う心を磨く
 - ◎たくましい（つよく）… 「おもしろく」と「やさしく」の土台になる健康な心と身体、思考力や感受性を兼ね備える

解釈

「お（おもしろく） や（やさしく） つ（つよい） な生徒」

＜「おやつな生徒」の具体像＞

思いやりの気持ちをもち、仲間とのかかわり合いを通して、自他の意見を自信をもって受け入れたり、表現したりすることができる生徒



＜身に付けさせたい具体的な力＞

【創造：おもしろい力】

○課題の解決に向け、必要な情報を能動的に収集・選択・活用し、自らのアイデアを活かして実践できる力

【協調：やさしい力】

○仲間と協働して関わり合い、自他の意見を受け入れたり、表現したりして課題を解決する力

【たくましい：つよい力】

○各活動の成果や課題を共有し、さらなる向上を目指して諦めずに挑戦する強い気持ちとやり遂げる力

3 令和7年度の教育活動の重点

＜重点1＞ 生徒が主体的に取り組み、自治力を発揮する授業づくり

＜重点2＞ 自治力を発揮する特別活動の推進及び社会性の育成を目指した生徒指導の推進

＜重点3＞ 多様な学びを保障する特別支援教育の推進と不登校生徒への適切な対応と支援